

■ 基本理念

- 本市の特徴を踏まえ、ライフステージやライフスタイルに応じた住まい方・働き方ができる、人と自然にやさしい快適な都市のあるべき姿を見出し、人口構成のバランスが取れた「住みたい、住み続けたい」都市を実現
- 都市基盤の面からは、**環境に配慮**しながら、「**心地よさ**」、「**利便性**」、「**安全・安心**」の視点から、必要な都市機能を向上
- 地域や経済の活力**を創出する視点から都市づくりを推進
- ユニバーサルデザインの視点に配慮し、**外出しなくなる「場づくり」と「移動環境づくり」**を推進
- 「**地域社会**」へ**配慮**しながら、これまで築いてきた「協働まちづくり」の土台を活かし、まちを育みながら、多世代が共生できる都市づくりを推進

将来都市像

「多世代が共生できる住みたい、住み続けたいまち」
～みんなで育む やすらぎとにぎわいのある快適環境都市～

※緑枠内を議論

*分野別の取り組み方針の例示及び冊子イメージは、「参考資料3」になります。

■めざすべき方向

□ 多様な個性と自然と文化が共生する都市づくり
～まちの資源に磨きをかけていくことで魅力ある都市空間に～

- ✓ 茅ヶ崎には、市民が魅力を感じる豊かな自然環境やこれまで培われてきた文化があり、その中で、自分らしく、心地良く暮らしてきました。今後、65歳以上人口の増加や働き方の変化等に伴い、より多くの時間を茅ヶ崎の中で過ごすひとが増えていくと予想されます。
- ✓ このため、豊かな自然環境やこれまで培ってきた文化、自分らしく、心地良く生き・暮らしていける環境を大切にするとともに、様々なライフスタイルのひとが、それぞれ多様性を受け入れ、尊重しながら、今以上に**やすらぎを実感できる都市をめざします。**
- ✓ また、自然環境の保全や地域社会に配慮し、みんなで茅ヶ崎のまち資源の質の向上を図り、魅力的な都市空間を形成し、次世代に都市を継承していきます。

□ 地域や経済の活力が「茅ヶ崎」の魅力を育む都市づくり
～にぎわいを生み出すことでまちやひとが元気に～

- ✓ さがみ縦貫道路の開通等により広域的な交通ポテンシャルが向上するとともに、集客施設の整備や産業系の土地利用に向けた取り組みが進んでおり、人や物の流れが活発化していくことが予想されます。
- ✓ こうした状況を捉え、拠点における商業・業務・サービス機能の充実や、人が集まるにぎわいの場、商業・雇用の場づくりにより、持続的に人の流れや雇用を生み出すことで、地域や経済の活力を創出し、**にぎわいのある都市をめざします。**
- ✓ また、住宅地においては、地域の人々が集まりやすい場所を地域の活動として活用したり、オープンスペースを活用しながら地域における交流の場を創出していくことで、日々の暮らしの中で、**人と人とのつながりができる都市をめざします。**

□ 安全・安心、快適、便利な市民生活が実現できる都市づくり
～日常生活に必要な都市機能を向上し 質の高い暮らしができる住環境に～

- ✓ 心地良く自分らしく日々の生活を送るためには、安全で安心でき、快適・便利に生活できる環境が必要です。こうした生活を実現するためには、超高齢社会の進展を踏まえた地震や水害等の災害対策や地域の防犯対策とともに、公共交通の維持等が重要です。
- ✓ また、環境へのさらなる配慮とともに、みどりの多様な機能に着目することも重要です。（グリーンインフラストラクチャー）
- ✓ このため、快適な住宅都市として、日常生活に必要な都市機能を向上させ、都市としての質を高め、**安全・安心で快適・便利な市民生活を実現できる都市をめざします。**

■ 分野別の取り組み方針



取り組み内容については、現在庁内調整中

※今後骨子としてお示しします